

今月の一言 7月に渋谷区契約課と懇談した際、このニュース毎月読みたいと言われました。すごいリップサービスです

皆さんの賃金、上がっていますか？

7月9日に東京土建が、豊洲4-2埼葛現場（元請：鹿島）で宣伝行動を実施しました。出入りする職人たちへ実態アンケートに取り組んだところ、賃金が「変わらない」が62.2%、東京都連調査の常用平均日額18,000円を「下回る」が57.8%でした。国交省不動産・建設経済局との交渉では、国交省が「担い手確保のためには技能者の処遇改善が不可欠。賃金の引き上げが重要」と回答しています。NPO法人建設政策研究所がまとめた賃金実態調査の速報では、常用、手間請け、一人親方とも1日当たりの賃金が前年から増加。常用は18,130円（205円増）、手間請け23,659円（788円増）、一人親方23,064円（1216円増）で、いずれも2012年以降最も高い金額になっています。

改正建設業法を武器に、下請けから請求・要求しよう

改正建設業法で、建設労働者の適切な処遇と賃金引上げが建設業者の努力義務になりました。労務費と長時間労働是正にむけた工期確保について、これまでは発注者のみを対象にしていた「不当に低い請負代金や著しく短い工期での契約締結の禁止」が、下請を含めた受注者も対象になりました。改正された建設業法を武器に、下請側から法令順守を根拠にした適正な請負代金と工期を「請求・要求」していきましょう。

↑と書いておきながら実態は…

東京土建の役員を対象に、「みんなで声をあげよう！賃金・単価引き上げ請求・要求アンケート」を実施しました（回答数570人）。結果は、直近1年間で賃金・単価の引き上げ交渉について「交渉した」は34.4%、「しなかった」は63.7%で、役員の中でも請求・要求運動が道半ばであることが示されました。「交渉した」結果、賃金・単価が「引きあがった」は68.4%で、「交渉しなかった」けれど「引きあがった」24.2%を大きく上回っています。賃金・単価の引き上げ率は、「交渉した」場合の方が当然ですが高い結果です。「交渉しなかった」理由で最も多かったのは「なんとなく言えない、めんどくさい」で32.3%。「請求・要求運動」の意義をみんなで共有していきましょう。

だったら一次に聞いてみよう！運動

東京土建が大手ゼネコン等と取り組む春秋の大手企業交渉で、東京土建が示す現場の賃金状況や要求に対し、大手企業は「すべて1次を通じて適正に対応している」と回答しています。実態を調べるため、大手一次の組合内事業所に対しアンケートの聞き取りをおこないます。対象の事業所の方はぜひご協力をお願いします。

外国人就労者受入事業所への 実態と要求の聞き取り調査

外国人就労者受け入れ事業所の要求と受入事業所を通じた外国人就労者の実態の聞き取りを進めていきます。こちらも、対象事業所の方、ご協力をお願いします。

各分会の野丁場群会議の日程

町場群に続き野丁場群も分会ごとに会議・交流会を開催しています。土建タイムを読み合わせ、現場の状況を交流しましょう。

北部：8月19日 西部：8月19日 東部：8月未定 南部：8月未定

お読みになった方はお名前をご記入の上、渋谷支部までご返送ください 氏名：